



講評

問 1 では、巡回セールスマン問題に対する 2 種類のアルゴリズムについて出題した。全体として正答率は高く、題意がおおむね理解されているようであった。

設問 1 は、順列・組合せの知識があれば容易に解答できる問題である。計算の手順はよく理解されていたようであったが、一方、“ノードの巡回順序が逆転している順回路を区別しない”という設問中の記述を見逃していると思われる解答も目立った。

設問 3 は、設問 1、設問 2 に比較して、正答率が低かった。順回路の変形操作の手順や、アルゴリズムとプログラムとの対応関係など、問題文中にアルゴリズムの考え方と全体の構造が記述されている。これらのことを念頭においてプログラムを注意深く追っていけば、正答を導けるはずである。

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。